

ファンタジー カラーコンクリート工法

【概要】

生コンクリートやモルタルが柔らかい時に同時に施工する工法です。

【カラーハーデナー散布】

カラーハーデナーは必ず二回散布し、木ごて、または金ごてでその都度押さえる。(この作業にはブルフロート、またはウォーキングトロウエルが便利)

1回目散布は、打ち込んだばかりのコンクリート1㎡あたりカラーハーデナー1kgを均一に散布する。カラーハーデナーがコンクリートの水分を十分に吸い取り次第、全体を木ごてか金ごてで押さえる。

2回目も1㎡あたりカラーハーデナー1kgを散布し再度全体を木ごてか金ごてで押さえる。散布の量が少なくてコンクリートの下地が出る場合は再度コンクリートが隠れるまで散布し均すこと。平均的には20kg入りの1袋で約10㎡を目安とする。

【過剰水分と着色】

コンクリートの浮き水が多すぎると、品質の劣化を招く原因となる。浮き水が多すぎる場合は生コンクリート供給業者のアドバイスを受ける。また最初のコテ均しに木ゴテを使うと浮き水を減らすことができます。

コンクリートの強度は210以上がベストで冬季は温度補正をすると良いでしょう。

スランプは冬場10~15、夏場15~21以下で施行すること。

カラーハーデナー散布の層が不均等に厚くなり過ぎると、その表面がダマ状で硬くなり、時間の経過と共に蜂の巣状態の亀裂を生じる原因になることがある。

金ごて仕上げのコンクリートは磨き仕上げのように見えて美しいですが、滑りやすくなるという欠点もある為、実用的かつ安全な仕上げにはマグネシウムごてや木ごての使用を試してみると良いでしょう。

【シーリング】

通常コンクリートの仕上げは汚れを吸い込みやすくカラーもくすんだ色に仕上がります。

その為トップコートをシーリングする事で、汚れ防止やカラーも濡れ肌の鮮やかな色を保つことができます。

施工4~6日後コンクリートの乾燥をまってシーリングを行います。シーリング前に、表面にグリース、オイル、汚れ等が付いていないか十分にチェックする。付いていけばきれいに清掃し上塗りシーラー(#3200)を2回塗ります。シーラーはできるだけ薄くムラ無く塗ってください。温暖あるいは熱い場所ではシーラーを厚く塗りすぎると、コンクリートの表面や目地に泡を生じる原因となります。その場合シーラーを最大限15%溶剤で薄め



IT Exterior Products Pty Ltd

Japan Branch : 1-7-9 Tatara, Higasiku, Fukuoka

伊藤建材株式会社

て塗ると効果的です。気温の高い日は、一日のうちで最も涼しい時にシーリングしてください。シーラーは柔らかいはけ・専用ブラシかローラー、またはエアレススプレーガンで塗布してください。

上塗りシーラー # 3 2 0 0 20リッター 2回塗りで 50㎡

【ノンスリップ添加剤の散布】

すべりが気になる場合は一袋 250g 入りの滑り止めの粉末を上塗りシーラー # 3200 (20L) に 1 ~ 2 袋を混ぜ込み攪拌して塗布するとサンドペーパーのようなザラザラした表面になります。この製品はスリップを軽く押さえる程度で良い場合に限り使用すること。

水性シーラーにはノンスリップ剤は使用できません

【使用上の注意】

本製品の使用前に、使用者は関連するテクニカル・データと材料安全データシートを必ず読んでください。

使用者は必ず適切な安全装備を着用し、周辺に色がつかないよう養生し屋外の施工の場合風による飛散にも留意し近隣対策などの予防措置をとって下さい。

室内の施工の場合、マスクやゴーグルなど着用し換気に十分注意をして下さい。

5 以下では乾燥・養生時間が大幅に遅れるので、工事は避けた方がよいでしょう。また表面温度が 0 を下がる場合も養生に影響を及ぼすのでお勧めしません。したがって、打設後夜間に気温が非常下がる予想の日には、作業部分に凍結防止の覆いをかけて下さい。

本製品を使用者の指定場所に納品後の貯蔵管理は使用者が十分に管理して下さい。

納品後の雨濡れや湿気による硬化などに関しては輸入元や販売元の関知するところではない為一切の責任は負いかねます。

使用者は本製品が使用目的に合うものであるか確認してください。異なった目的に使用する場合は、使用者の責任において用いてください。

